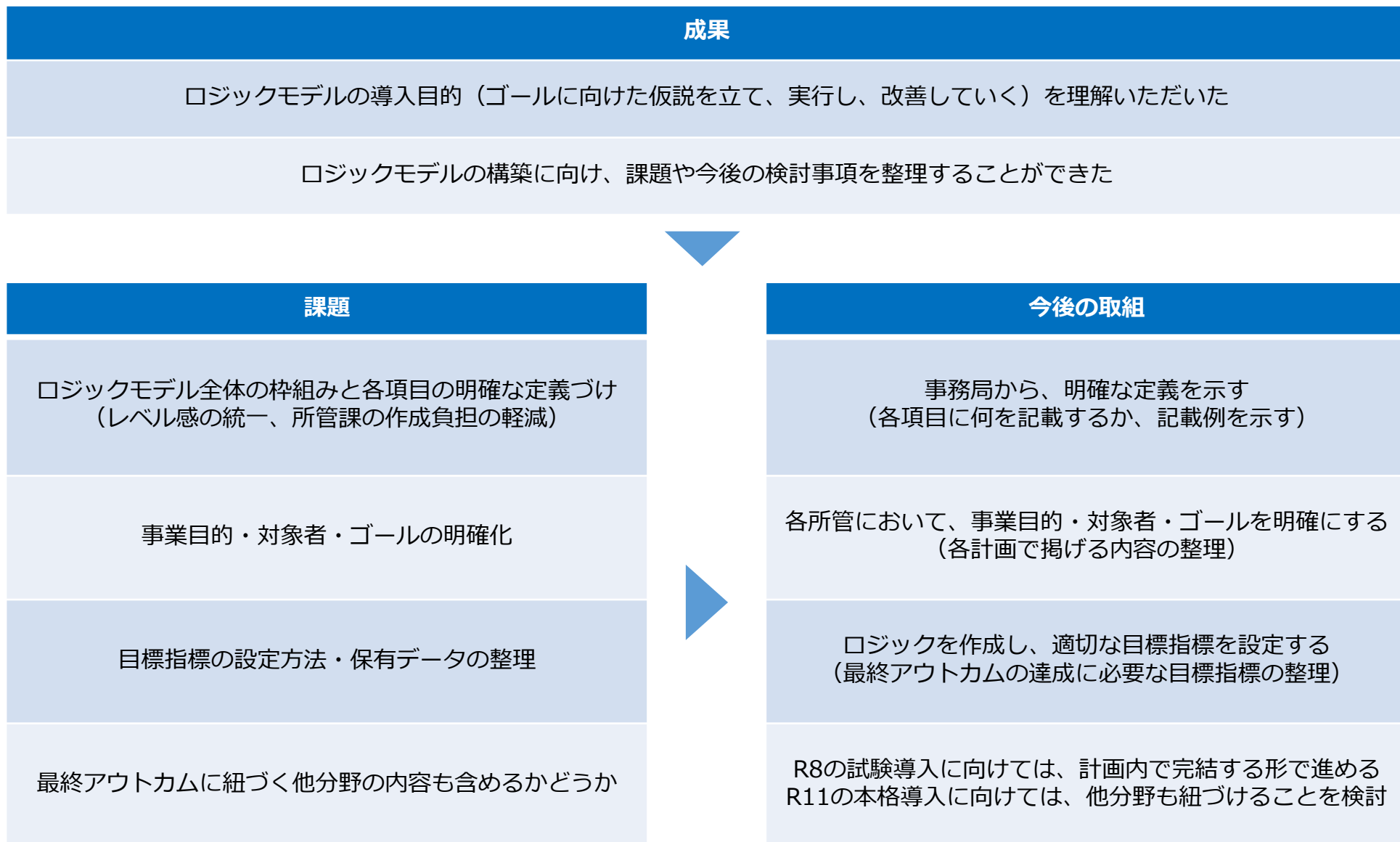


第1回評価部会の成果と課題・第2回の議題案について

1 第1回評価部会の成果と課題①

➤ 総論



1 第1回評価部会の成果と課題②

➤ 個別のロジックモデルについて（高齢・介護計画）

成果・課題
TFPPの参加者には、①担い手になる人②地域介護予防教室に参加する人③地域包括支援センターにつながる人の3類型があるため、類型別に分けて整理すべき
新規要介護認定率の低下に係る効果測定の難しさ
主観的健康観、主観的幸福度、寿命の相関性は明確 主観的幸福度の向上に向けたロジックの検討



今後の取組
各類型についてアウトカムに至るまでのロジックを作成？
適切な指標の検討
今後要検討

➤ 個別のロジックモデルについて（障害計画）

成果・課題
論理的には成立している。
アウトカム「障がい者の差別が解消している」は、障がい者イコール社会的弱者との認識を生み、差別を助長してしまう恐れがある。 負の側面に着目したアウトカム指標の設定が必要。



今後の取組
各項目の評価指標について、適切かどうかは検討を継続
他の適切な指標、障がい者イコール社会的弱者という認識を生まない方法などを検討する

議題案	概要
修正後ロジックモデルの確認	・ 事業目的、対象者、ゴールが明確になっているか ・ 適切な指標が設定されているかどうか ・ 目標指標の設定がどのようにされているか（＝なぜその数値に設定したか） ・ 市民に分かりやすいものとなっているか
進捗管理の方法について	・ 毎年度の実績を調査する ・ ただし、アウトカム発現まで短期・中期・長期の施策が想定されるため、どのように管理していくかが課題

そのほか・・・

- 武蔵野大学助教 清水潤子氏（日本評価学会）による、ロジックモデルのワークショップ（対象者は検討中）